

2022年度 第13期

事業報告書

自 2022年4月 1日

至 2023年3月31日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

黒住医学研究振興財団は1993年に設立され、2010年7月1日より公益財団法人としての認定を受けている。公益財団法人として第13期目となる本年度は、定款に従い下記の各事業を遂行した。

2022年度は、理事会を、2022年4月19日、7月1日、9月9日、2023年1月6日、2月10日、3月10日の計6回、評議員会を、2022年5月16日(2回)、9月21日、2023年3月16日の計4回開催した。また、各選考委員会は、2022年9月2日、9月9日、2023年2月10日、3月10日の計4回開催した。

各理事会・評議員会における議題は次の通りであり、議案については全て出席した理事・評議員全員により承認された。

【理事会】

第87回理事会（2022年4月19日開催）書面表決 理事数11名中11名 監事数2名中2名

1. 2021年度事業報告(案)・2021年度決算報告(案)承認の件
2. 本財団が保有する株式について、その株式に係る議決権を行使しないことへの承認の件

第88回理事会（2022年7月1日開催）出席者 理事11名中10名 監事2名中2名

1. 第58回小島三郎記念文化賞推薦票の確認、予備選考
2. 第30回研究助成金の事前審査結果並びに分野別審査委員及び選考委員の確認
3. 評議員の変更の件
4. 秋の贈呈式の開催方法について

第89回理事会（2022年9月9日開催）出席者 理事11名中9名 監事2名中2名

1. 第58回小島三郎記念文化賞受賞者決定
2. 第30回研究助成金の贈呈対象者と金額の決定
3. 評議員補充の件
4. 秋の贈呈式の開催方法について
5. 2023年度・2024年度技術賞・福見賞選考委員改選について
6. 2023年度の贈呈式会場及び日程について

第90回理事会（2023年1月6日開催）出席者 理事11名中9名 監事2名中2名

1. 2023度における会議及び事業計画の策定
2. 2023年6月の技術賞・福見賞贈呈式における特別講演の演者及び演題
3. 2023年度・2024年度理事改選について
4. 2023年度・2024年度各種選考委員改選について

第91回理事会（2023年2月10日開催）出席者 理事11名中9名 監事2名中2名

1. 第42回福見秀雄賞受賞者の決定
2. 第58回小島三郎記念技術賞の予備選考
3. 2023年度事業計画（案）、2023年度予算（案）並びに2022年度収支予測
4. 2023年度・2024年度文化賞選考委員及び研究助成金選考委員の承認
5. 2023年度・2024年度理事（補充）について
6. 評議員会（書面評決）開催の件

第92回理事会（2023年3月10日開催）出席者 理事11名中7名 監事2名中2名

1. 第58回小島三郎記念技術賞受賞者の決定
2. 常務理事の報酬改定の件
3. 2023年度予算（案）並びに2022年度収支予測
4. 2023年・2024年度理事候補者の選任
5. 定時評議員会（5月）開催の件
(2022年度事業報告・決算報告の承認及び2023年・2024年度理事の選任)

【評議員会】

第31回評議員会（2022年5月16日開催）出席者 評議員9名中9名 理事2名 監事2名

1. 2021年度の事業報告（案）及び2021年度の決算報告（案）承認の件
2. 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程改正の件
3. 2022年度～2025年度評議員選任の件

第32回評議員会（2022年5月16日開催）出席者 評議員9名中9名 理事2名 監事2名

1. 評議員長の選任

第33回評議員会（2022年9月21日開催）書面表決 評議員数8名中8名

1. 評議員補充の承認の件

第34回評議員会（2023年3月16日開催）書面表決 評議員数9名中9名

1. 2023年度事業計画（案）、2023年度予算（案）の承認の件

【各選考委員会の開催】

第30回研究助成金選考委員会（2022年9月2日開催）出席選考委員8名

1. 第30回研究助成金贈呈候補者の選考及び助成金額（案）の決定

第58回小島三郎記念文化賞選考委員会（2022年9月9日開催）出席選考委員14名

1. 第58回小島三郎記念文化賞受賞候補者の選考・決定

第42回福見秀雄賞選考委員会（2023年2月10日開催）出席選考委員11名

1. 第42回福見秀雄賞受賞候補者の選考・決定

第58回小島三郎記念技術賞選考委員会（2023年3月10日開催）選考委員数14名

1. 第58回小島三郎記念技術賞受賞候補者の選考・決定

各事業の詳細は次の通りである。

I. 研究助成事業

本財団定款第4条第1項第1号に規定される研究助成事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査ならびに研究の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して助成するものである。

研究助成の対象は、医学関連の大学、教育機関、研究所及び医療機関等において、当該事業の目的に従事している者から応募申請を募り、申請内容を各専門分野の審査委員が書面審査にて採点した後、選考委員会で慎重かつ厳正に審議して研究助成の贈呈候補者と助成金額案とを決定し理事会に答申する。理事会は選考委員会の答申を受け、研究助成金の贈呈対象者と金額を決定するものである。

当該事業は、1993年から開始しており、本年度の第30回研究助成金は、選考委員会を2022年9月2日に開催し、申請件数166件のうちから19件の贈呈候補者と助成金額案を決定し理事会に答申、2022年9月9日に行われた理事会で贈呈対象者と金額とを決定した。

また、本年度は創立30周年の為、それを記念として対象領域に「感染危機管理」を新設し、2022年度、2023年度の2年間の時限付きではあるが、研究助成金の総額を増額した。

なお、研究助成金の贈呈式は、小島三郎記念文化賞の贈呈と併せて2022年10月28日に東京會館（東京都千代田区丸の内）で開催した。

受贈者の氏名、研究課題は次のとおりである。

【研究助成金の受贈者 第30回】

1. 相澤 健一

（所属機関）自治医科大学附属病院臨床薬理センター 室長（准教授）医学博士

（研究課題）「病理質量分析による心アミロイドーシス診断法の開発と臨床応用」

（助成金額）100万円

2. **青沼 宏佳**
(所属機関) 東京慈恵会医科大学医学部熱帯医学講座 講師 医学博士
(研究課題) 「vDNA を標的とした迅速・簡便なウイルス媒介蚊検査技術の開発」
(助成金額) 150 万円

3. **浅田 健**
(所属機関) 国立研究開発法人理化学研究所 革新知能総合研究 (AIP) センター
 研究員 医学博士
(研究課題) 「融合遺伝子解析を含めた新規肺がん統合マルチオミックス解析プラットフォームの構築」
(助成金額) 100 万円

4. **畷田 篤仁**
(所属機関) 国立がん研究センター研究所脳腫瘍連携研究分野 研究員 医学博士
(研究課題) 「2021WHO 中枢神経腫瘍分類に対応した網羅的脳腫瘍カスタムパネルによる遺伝子診断体制の構築」
(助成金額) 100 万円

5. **沖 健司**
(所属機関) 広島大学病院内分泌・糖尿病内科 講師 医学博士
(研究課題) 「原発性アルドステロン症の早期診断バイオマーカーの開発と臨床応用」
(助成金額) 100 万円

6. **小椋 英樹**
(所属機関) 兵庫医科大学医学部病原微生物学講座 講師 医学博士
(研究課題) 「SARS-CoV-2 特異的 CTL 解析を基盤とした COVID-19 病態モニタリング法の開発」
(助成金額) 100 万円

7. **片山 彩香**
(所属機関) 群馬大学大学院医学系研究科病理診断学 講師 医学博士
(研究課題) 「AI を用いた病理組織画像解析による Stage II 大腸癌の術後補助化学療法の最適化」
(助成金額) 50 万円

8. **神尾 成美**
(所属機関) 国際医療福祉大学成田病院検査部 臨床検査技師
(研究課題) 「フローサイトメトリーを用いた環状鉄芽球判定法の開発」
(助成金額) 100 万円

9. **河村 吉紀**
(所属機関) 藤田医科大学医学部小児科学 講師 医学博士
(研究課題) 「イムノクロマト法による突発性発疹 (ヒトヘルペスウイルス 6B 初感染) の迅速診断法開発」
(助成金額) 100 万円

10. **川村 良一**
(所属機関) 愛媛大学大学院医学系研究科糖尿病内科学講座(糖尿病内科・臨床検査医学) 特任講師 医学博士
(研究課題) 「レジスチン SNP・白血球特異的遺伝子発現相乗効果を標的とした 2 型糖尿病の高精度医療の確立」
(助成金額) 50 万円

11. 柴 瑛介
(所属機関) 産業医科大学第一病理学 助教
(研究課題) 「脂肪肉腫における MDM2 cRNA in situ hybridization の診断学的有用性の検討」
(助成金額) 100 万円
12. 谷 里奈
(所属機関) 奈良県立医科大学分子病理学講座 講師 医学博士
(研究課題) 「ヒト剖検症例におけるがん性悪液質関連心筋障害の病理組織学的検討」
(助成金額) 100 万円
13. 鳥居 裕太
(所属機関) 神戸市立医療センター中央市民病院臨床検査技術部 臨床検査技師 医学博士
(研究課題) 「うっ血性心不全患者におけるエコーを用いた包括的うっ血評価と心血管イベント発症の関連」
(助成金額) 100 万円
14. 菱田 朝陽
(所属機関) 名古屋大学大学院医学系研究科予防医学 准教授 医学博士
(研究課題) 「血清中金属元素測定によるがん早期診断・リスクマーカーとしての感度分析」
(助成金額) 50 万円
15. 前川 正充
(所属機関) 東北大学大学病院 准教授・副薬剤部長 薬学博士
(研究課題) 「液体クロマトグラフィー／タンデム質量分析法を用いた尿中抱合型コレステロール代謝物の超高感度・高速分析法の構築とニーマンピック病 C 型の診断スクリーニングへの応用」
(助成金額) 100 万円
16. 丸山 和晃
(所属機関) 三重大学大学院医学系研究科修復再生病理学 学内講師 医学博士
(研究課題) 「小児 COVID-19 関連多系統炎症性症候群の心臓検体による炎症細胞動態の解析」
(助成金額) 100 万円
17. 三浦 里織
(所属機関) 福島県立医科大学保健科学部臨床検査学科 助教
同大学附属病院輸血・移植免疫部 医学博士
(研究課題) 「白血球関連遺伝子変異を有する血球が血栓症を惹起する機序の解明とバイオマーカーの開発」
(助成金額) 100 万円
18. 三木田 馨
(所属機関) 慶應義塾大学医学部感染症学教室 専任講師 医学博士
(研究課題) 「LAMP 法と DNA クロマトグラフィーを組み合わせた *Mycobacterium avium* complex 臨床分離株のマクロライド耐性変異に関する簡易検査法の開発」
(助成金額) 100 万円

19. ^{やまもと けいち}山本 景一

(所属機関) 熊本大学病院中央検査部微生物検査室 主任臨床検査技師

(研究課題) 「熊本地域の感染制御ネットワークによる独自の微生物サーベイランスシステムを利用した MRSA の分子疫学解析」

(助成金額) 100 万円

※所属機関および肩書は理事会決定時

計 19 名 研究助成金総額 1,800 万円

※但し、5. 広島大学病院 沖健司氏については、大学病院退職のため研究遂行が出来なくなり、2023 年 3 月に研究助成金の 100 万円の全額返納を受けた。

II. 顕彰事業

本財団の定款第 4 条第 1 項第 2 号及び第 3 号に規定されている顕彰事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する優れた研究成果に対する顕彰並びに臨床検査技師及び衛生検査技師の人材育成に優れた成果を収めた者に対する顕彰である。これにより学術及び科学技術の振興並びに医療・公衆衛生の向上を図るとともに、国民の健康と福祉の向上に寄与する事業で、「小島三郎記念文化賞」、「小島三郎記念技術賞」、「福見秀雄賞」があり、各賞とも毎年 1 回贈呈している。

なお、本年度から創立 30 周年を記念して、顕彰事業の小島三郎記念文化賞、小島三郎記念技術賞、福見秀雄賞の副賞金の増額を行った。

① 【小島三郎記念文化賞】第 58 回の贈呈

小島三郎記念文化賞は、病原微生物学、感染症学、公衆衛生学その他これらに関連した領域において、学問的に顕著な業績で、しかも我が国の文化に貢献したと思われる研究成果に対して贈呈するものである。

同賞の対象者については、大学の衛生学、公衆衛生学、微生物学、寄生虫学、感染症学、病理学、免疫血清学の教授、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、小島三郎記念文化賞受賞者等から推薦を得た候補者を申請書類の推薦理由、研究歴、発表論文等を基に選考委員会で慎重かつ厳正に審査した上で優秀な業績のあった者を受賞候補者として理事会に答申し、理事会にて受賞者を決定するものである。

当該事業は、1965 年から開始しており、本年度の第 58 回小島三郎記念文化賞選考委員会は 2022 年 9 月 9 日に開催し、推薦候補者 6 名のうちから 1 名を受賞候補者として選考し理事会に答申した。選考委員会からの答申を受け、同日行われた理事会で受賞者を決定した。

なお、同賞の贈呈式は、研究助成金の贈呈と併せて 2022 年 10 月 28 日に東京會館（東京都千代田区丸の内）で開催した。

受賞者の氏名、所属及び業績は次のとおりである。

^{やまもと まさひろ}山本 雅裕

大阪大学微生物病研究所感染機構研究部門 教授 医学博士

(業績の題目) 「病原性寄生虫と宿主免疫系の相互作用の解明」

※所属機関および肩書は理事会決定時

② 【小島三郎記念技術賞】第 57 回の贈呈

小島三郎記念技術賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域において優れた検査方法、術式の考案改良を行い、また、検査技術の普及発展に功績のあった実務者（技師）に贈呈するものである。

同賞の対象者については、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者等から推薦を得た候補者を申請書類の推薦理由、研究歴、ならびに論文等を各専門分野の審査委員が事前審査で採点した後、選考委員会で慎重かつ厳正に審査した上で、優秀な業績のあった者を受賞候補者として理事会に答申し、理事会にて受賞者を決定するものである。

当該事業は、1966 年から開始しており、本年度の第 57 回小島三郎記念技術賞選考委員会は 2022 年 3 月 18 日に開催し、推薦候補者 19 名のうちから 4 名を受賞候補者として選考し理事会に答申した。選考委員会からの答申を受け、同日行われた理事会で受賞者を決定した。

なお、同賞の贈呈式は 2022 年 6 月 10 日、東京會館（東京都千代田区丸の内）にて福見秀雄

賞の贈呈と併せて開催した。

受賞者の氏名、所属及び業績は次のとおりである。

1. ^{あめみや けんじ}雨宮 健司

(所属機関) 山梨県立中央病院 ゲノム解析センター/検査部ゲノム検査科

主任臨床検査技師

(業績の題目) 「細胞診検体を用いたがん遺伝子パネル検査法の確立と臨床応用、FFPE検体の精度管理」

2. ^{みずかみ なおこ}水上 尚子

(所属機関) 慶應義塾大学病院臨床検査科生体・健診・心機能検査室 主務 医学博士

(業績の題目) 「経胸壁心エコー法による冠動脈バイパス術後の内胸動脈グラフト開存性の評価の開発」

3. ^{よしだ しおみ}吉田 志緒美

(所属機関) 国立病院機構近畿中央呼吸器センター・臨床研究センター

流動研究員 医学博士

(業績の題目) 「抗酸菌遺伝子情報の臨床検査応用」

4. ^{わちの じゅんいち}和知野 純一

(所属機関) 修文大学医療科学部臨床検査学科 准教授 医学博士

(業績の題目) 「薬剤耐性菌の耐性分子機構を簡易に識別するための化合物開発と検査法構築」

※所属機関および肩書は理事会決定時

③ 【福見秀雄賞】第41回の贈呈

福見秀雄賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発、向上に努力し、その領域の発展への指導的役割および人材育成に貢献のあった者に贈呈するものである。

同賞の対象者については、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者、福見秀雄賞受賞者等から推薦を得た候補者を申請書類の推薦理由、職歴、ならびに論文等の概略を確認し、選考委員会で慎重かつ厳正に審査した上で、優秀な業績のあった者を受賞候補者として理事会に答申し、理事会にて受賞者を決定するものである。

当該事業は、1980年から開始しており、本年度の第41回福見秀雄賞選考委員会は2022年2月10日に開催し、推薦候補者10名のうちから4名を受賞候補者として選考し理事会に答申した。選考委員会からの答申を受け、同日行われた理事会で受賞者を決定した。

なお、同賞の贈呈式は2022年6月10日、東京會館（東京都千代田区丸の内）にて小島三郎記念技術賞の贈呈と併せて開催した。

受賞者の氏名、所属及び業績は次のとおりである。

(業績) 「臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発・向上に努力し、その領域の発展への指導的役割および人材育成に貢献した」

1. ^{つるおか ひさし}鶴岡 尚志

(所属機関) 元 国家公務員共済組合連合会三宿病院診療技術部 専門役

現 医療法人社団新虎の門会新浦安虎の門クリニック 副院長

2. ^{とりい よしたか}鳥居 良貴

(所属機関) 前 兵庫医科大学病院臨床検査技術部 次長

現 同大学病院臨床検査技術部/病院病理部

3. ^{まちだ てつお}町田 哲男

(所属機関) 前 群馬大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師長
現 社会医療法人輝城会沼田脳神経外科循環器科病院臨床検査課 臨床検査技師

4. ^{やまおか げんじ}山岡 源治

(所属機関) 元 香川大学医学部附属病院検査部 副臨床検査技師長
現 愛媛県立医療技術大学保健科学部臨床検査学科 准教授 医学博士
※所属機関および肩書は理事会決定時

④ 【小島三郎記念技術賞】第58回の選考および決定

2023年度における第58回小島三郎記念技術賞の推薦の受付は2022年11月1日より2022年12月31日までを行い、その後、同賞の選考委員会を2023年3月10日に開催し、推薦候補者18名から4名の受賞候補者を決定し理事会に答申した。同日行われた理事会において答申された受賞候補者4名を受賞者として決定した。

なお、同賞の贈呈式は2023年6月9日、福見秀雄賞の贈呈と併せて東京會館（東京都千代田区丸の内）にて開催の予定である。

第58回小島三郎記念技術賞受賞者の氏名、所属及び業績は次の通りである。

1. ^{きくち りょうすけ}菊地 良介

(所属機関) 岐阜大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師長 医学博士
(業績の題目) 「血管新生破綻機序解明と血管新生療法の評価指標創出及び関連疾患の病態評価への応用」

2. ^{すずき むつお}鈴木 敦夫

(所属機関) 名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門 主任臨床検査技師
医療技術学博士
(業績の題目) 「凝固波形解析に基づくフィブリノゲンの質的分析法の確立と臨床応用」

3. ^{はちや むつこ}蜂谷 敦子

(所属機関) 新渡戸文化短期大学臨床検査学科 教授 医学博士
(業績の題目) 「HIVの新規薬剤耐性変異の分子機能解析に基づく薬剤感受性検査法の開発と普及」

4. ^{よこやま たかし}横山 貴

(所属機関) 新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科 准教授 工学博士
(業績の題目) 「ファブリー病におけるマルベリー細胞とマルベリー小体の標準検査法の開発と起源、排出動態や酵素補充療法との関連性の解明」
※所属機関および肩書は理事会決定時

⑤ 【福見秀雄賞】第42回の選考および決定

2023年度における第42回福見秀雄賞の推薦の受付は、2022年11月1日より2022年12月31日までを行い、その後、同賞の選考委員会を2023年2月10日に開催し、推薦候補者5名から4名の受賞候補者を決定し理事会に答申した。同日行われた理事会において答申された受賞候補者4名を受賞者として決定した。

なお、同賞の贈呈式は2023年6月9日、小島三郎記念技術賞の贈呈と併せて東京會館（東京都千代田区丸の内）にて開催の予定である。

第42回福見秀雄賞受賞者の氏名、所属及び業績は次の通りである。

(業績) 「臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発・向上に努力し、そ

の領域の発展への指導的役割および人材育成に貢献した」

1. 磯部 順子

(所属機関) 富山県衛生研究所 上席専門員 学術博士

2. 佐藤 智明

(所属機関) 国際医療福祉大学成田病院検査部 臨床検査技師長

3. 南部 雅美

(所属機関) 熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科 教授 医学博士

4. 藤上 良寛

(所属機関) 一般社団法人福山市医師会健康支援センター 検査課 顧問
元 県立広島病院臨床研究検査科 技師長

※所属機関および肩書は理事会決定時

III. 学術講演会

2022年度は、6月10日に東京會館にて「第57回小島三郎記念技術賞ならびに第41回福見秀雄賞」贈呈式の特別講演として、国立研究開発法人国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター センター長 岡 慎一 先生に「新規 HIV 感染者ゼロを目指して；検査と予防の重要性」と題してご講演いただいた。

また、創立30周年記念特別学術講演を企画し、「感染症研究の温故知新」をテーマとして国立感染症研究所元所長の竹田美文先生と北海道大学特別招聘教授の喜田宏先生による学術講演を10月1日より1か月間、本財団のホームページにてWeb配信を行った。

※所属機関および肩書は講演時

IV. 公益財団法人登記後の対応

- ① 2021年度事業報告書等に係る提出書（1. 財産目録、2. 役員等名簿、3. 理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準を記載した書類、4. 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 第129条第1項（同法第199条において準用する場合を含む）に規定する計算書類等、5. 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第28条第1項第2号に掲げる書類、6. 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第28条第2号及び第3号に掲げる書類、7. 滞納処分に係る国税及び地方税の納税証明書）を2022年6月28日に内閣府へ提出した。
- ② 評議員に関し、横地常広氏の退任と長沢光章氏の就任を2022年10月7日に内閣府へ変更届を提出した。
- ③ 2023年度事業計画書等に係る提出書（1. 事業計画書、2. 収支予算書、3. 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類、4. 1から3までに掲げる書類について理事会、評議員会の承認を受けたことを証する書類）を2023年3月30日に内閣府へ提出した。

以上